

会 議 録（要点筆記）

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | 令和 7 年度 第 3 回米原市下水道事業審議会 |
| 開催日時 | 令和 7 年10月28日（火） 午後 1 時30分～午後 3 時30分 |
| 開催場所 | 米原市役所山東支所 2 階 会議室 2 A B |
| 出席者および欠席者 | 出席者：横川会長、和田副会長、鈴木委員、飛戸委員、中田委員、 藤田委員、吉田委員 事務局：まち整備部 高橋部長 上下水道課 今枝課長、鏑田課長補佐、高畑 有限責任監査法人トーマツ 刀禰氏、吉岡氏 |
| 議 題 | ○ 報告案件 令和 6 年度米原市下水道事業決算について ○ 議事案件 （１） 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）の中間評価 について （２） 米原市下水道事業経営戦略の策定について |
| 結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会資本総合整備計画の中間評価は、これまでの公共下水道接続事業の取組成果が肯定的にアピールできるように文言、数値を整理していくこととします。 ・ 物価高騰等に伴う下水道使用料の改定はやむを得ないものの、改定率については、その妥当性が市民に説明できるようにわかりやすく説明した資料を提出し、改めて審議会の意見を求めることとします。 |
| 審議経過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） [説明要旨] 事務局 | <p>2 報告案件 令和 6 年度下水道事業決算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度は、下水道管路施設の老朽化状況や圧送先マンホールの腐食状況を調査したところ、マンホール 2 か所で腐食状況を確認したため、令和 7 年度中に修繕する計画をしています。 ・ 広域避難所のマンホールトイレシステムは、24 か所で整備を計画しているところ、令和 6 年度末までに15 か所が完了しました。また、公共下水道への接続は、山室地区で工事が完了し、令和 7 年 4 月から接続したほか、夫馬地区、朝日地区では令和 9 年 4 月接続に向けて測量・設計を行いました。 ・ 現行の経営戦略では、基準外繰入金を 0 円にすることを目標としています。繰入金対使用料割合※を用いて進捗管理しているところ、使用料収入は、令和 8 年度目標値を達成見込みですが、実繰入額は、流域下水道維持管理負担金の単価改定により、令和 8 年度目標値の達成 |

| | |
|--|---|
| <p>[説明要旨] ○事務局</p> <p>[質疑応答・意見等] ○委員</p> <p>○事務局</p> | <p>は困難な見込みです。その他、水洗化率や農業集落排水の企業債残高については、令和8年度目標値を達成できる見通しです。</p> <p>※ 繰入金対使用料割合</p> <p>使用料収入に対する繰入金の割合。一般会計からの繰入金にどの程度依存しているかを表す経営指標。</p> <hr/> <p>3 議事案件</p> <p>(1) 社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金)の中間評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道事業では、社会資本整備総合交付金という国の補助を活用して事業を進めていますが、補助制度上、整備計画の計画期間の中間年度終了後に中間評価を実施し、第三者の意見を求め、評価結果を公表することとなっています。米原市で策定している整備計画2件のうち、社会資本整備総合交付金分の中間年度が令和6年度で終了し、中間評価を実施したことから、当審議会に意見を求めるものです。 社会資本整備総合交付金では、主に、農業集落排水の公共下水道接続と真空式下水道遠方監視制御システム更新工事に取り組んできました。その結果、山室地区においては、令和7年4月の公共下水道接続に向けて工事を完了することができました。 評価指標で用いている下水道処理人口普及率※について、令和6年度末時点では、山室地区は農業集落排水区域なので、進捗状況の人口には加算していません。また、整備計画期間の最終年度である令和8年度末までには新規で接続する区域も無く、人口減少の影響から目標達成が困難であることから、目標を下方修正する方針です。 <p>※ 下水道処理人口普及率</p> <p>米原市の行政区域内人口に対して公共下水道を使えるようになった区域内の人口の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を下方修正することはイメージが悪い。せっかく市が取り組んでやってきたことを肯定的にアピールすることが必要ではないかと思う。山室地区は令和7年4月接続に向けて令和6年度末までに、夫馬地区、朝日地区は令和9年4月接続に向けて令和8年度末までに工事を完了させることで効果が発現するのだから、令和6年度、令和8年度の数値に反映させれば、下方修正は必要ないのではないか。 <p>減点するのではなく、加点できるように評価した方がよい。</p> <p>➡ 年度末現在で国に報告する汚水処理人口普及率等の取扱いでは、年度末時点は農業集落排水であることから公共下水道の人口に含めないこととなっているため、同様の取扱いをしていました。</p> <p>御指摘の意見を踏まえて、成果を肯定的にアピールできるように事</p> |
|--|---|

| | |
|---------------------------|--|
| | <p>務局で考え方を整理し、公表していくこととします。</p> |
| <p>[説明要旨]</p> <p>○事務局</p> | <p>(2) 米原市下水道事業経営戦略の策定について</p> <p>① 第2回審議会のおさらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 25m³当たり下水道使用料は、県内で上から5番目でしたが、本市よりも市街地が多い近隣自治体において使用料増額改定の議決があった令和7年9月現在では、6番目の水準となっています。 ・ 前回、農業集落排水の汚水処理費の削減策として省エネ設備の導入や汚泥発生抑制等の新技術について、国の補助制度を活用しながら導入することへの意見をいただきました。その後の調査により、省エネ設備の導入で事例等を確認しましたので、今後、導入に向けた検討を進めていきたいと考えています。 <p>[質疑応答・意見等]</p> <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農集で人口が減る中、例えば2系列で汚水処理しているところを1系列にする等、色々なやり方があり、そうした検討について国から定額の補助や農村整備事業では事業費の50%の国補助に加え、県からも10%の補助があるので活用いただきたい。 |
| <p>[説明要旨]</p> <p>○事務局</p> | <p>② 投資財政計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投資財政試算の3つの検討パターンを元に最終損益から収支ギャップを把握しようとしたところ、繰入金を含めた場合は、どの検討パターンでも当面の間、収支ギャップが生じないという試算結果になりました。これは、公共下水道事業では、使用料単価が150円/m³以上で維持管理費に対して十分な水準があること、農業集落排水事業における維持管理費の使用料不足分(基準外繰入金)は、市内どの地域に住んでいても使用料を同じにするための市の政策的な繰入として位置づけたことにより、使用料の見直し対象となる基準外繰入金を解消することができたためです。 ・ 繰入金を含めない場合の最終損益、繰入金、企業債残高、資金残高および経費回収率のどの指標で比較しても検討パターン②の改善策反映が一番望ましい結果となりましたが、現在の水準に比べると繰入金や企業債残高は増加します。 ・ 物価高騰に伴う汚水処理原価への影響について、成り行き任せで経営する場合と経営改善策に取り組む場合とで比較すると、維持管理に係る汚水処理原価で約4%削減できる試算結果となりました。しかし、令和2年度から6年度までの維持管理費の平均額(110.3円/m³)に対して、令和8年度から17年度までの平均額(127.7円/m³)は、約15.8%増となりました。この増加分に対して使用料を据置した場合、全て市一般会計への負担になるため、どこまで使用料に負担を求める |

| | |
|--|---|
| <p>[質疑応答・意見等]</p> <p>○委員</p> <p>○事務局</p> | <p>か、御意見をいただき、検討したいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（資料52ページ）経費回収率で100%にしていくところを、当面の間、5%程度足りないので、使用料を改定しようということか。 <p>➡ 公共下水道事業と農業集落排水事業とで事情は異なりますが、公共下水道事業では、残り5%分は国庫補助金等の他の財源が当たっているので、100%には到達しない要因になっています。農業集落排水事業では、維持管理費に対する使用料収入不足分に基準外の繰入金が入っていますが、物価高騰によってさらに維持管理費が増加するため、増加分に対して使用料も増収して繰入金に頼らずに賄っていけると経費回収率が改善していくことになります。</p> |
| <p>[説明要旨]</p> <p>○事務局</p> | <p>③ 使用料収入の水準について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料を据置する場合、経費回収率の悪化や更新投資が後ろ倒しになっていることでの課題が残ります。使用料改定パターンを「① 改定無し」、「② 現行経営戦略で定める5%改定」、「③ 一定の物価上昇に対応する10%改定」、「④ 物価上昇に対応する15%改定」の4パターンで比較検討した結果、維持管理費15.8%の上昇分に一定回収できるようにするためには、10%以上の改定が望ましいのではないかと考えています。 ・ 25㎡当たりの使用料水準について、それぞれの改定パターンを当てはめ、県内市町で比較したところ、15%も改定すると県内トップ、10%改定で県内2番目の水準となります。 ・ 将来更新費用への資金積立について検討しましたが、現行の下水道事業への繰入の考え方では、使用料改定によって収入が増えた分、繰入金が減ってしまう構造になっているために、本来の目的に備えられないとの検討結果になりました。また、物価高騰分に加えて、将来更新資金積立の場合の改定率とした場合、県内市町の使用料水準と比べても、使用者への負担が著しく重くなります。そこで、今回は将来更新費用への資金積立分は加味しないものとししました。 ・ 使用料改定率に関する事務局案としては、県内市町の使用料水準を加味した場合、15%改定は使用者への負担が重いと考えますので、経営改善に取り組まなかった場合の4%分と物価高騰分の15.8%とを合わせた約20%の増加分に対し、下水道事業の経営改善の取組みと市の財政負担で10%を引下げ、残り10%を使用者負担分として改定水準とすることが望ましいのではないかと考えています。 |
| <p>[質疑応答・意見等]</p> <p>○委員</p> <p>○事務局</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料が安い市町もあるが、そちらの状況はどうでしょうか。 <p>➡ 県内では4つの処理区があります。米原市が入っている東北部処理</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>区は、令和8年度から流域下水道維持管理負担金の単価が改定されるが、湖南中部の処理区は、今、単価改定が検討されていますので、改定されてくると、現在、使用料が比較的安い市町も、上がっていくことが見込まれます。</p> |
| ○委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の事務局からの説明を聞いて、改定率をどうしていくとよいのか意見を出しにくい。 |
| ○事務局 | <p>➡ 1つの基準として、市の方で何も経営改善に取り組まなかった場合の維持管理費の増加率が約20%という試算結果を踏まえて、これを市と使用者で折半して10%という案を今回提示しましたので、この案に対する率直な御意見を伺いたいと思います。</p> |
| ○委員 | <p>➡ 市民生活に欠かせない下水道事業の維持管理を長い将来にわたってやっていくための費用負担なので、いろいろと物価が上がっている中で改定することは致し方ないと思う。これを5%にする等の必要はあるのだろうかと感じる。</p> |
| ○委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の市町がどのようにして使用料を定められたのか、詳しく知ることとはできますか。 |
| ○事務局 | <p>➡ 調べること自体は可能ですが、都市部と山間部など事業環境が違うので、単純に他の市町と比較しにくいところがあります。しかし、他の市町と比べて自分の市の使用料は高いのか安いのか、皆さん関心を持って見られますので、資料で用意しているものです。</p> |
| ○委員 | <p>➡ 必要なのであれば何パーセント上げても良いけれども、市民が納得してお金を払えるようなわかりやすい説明が一番大事ではないか。</p> |
| ○事務局 | <p>➡ わかりやすく言えば、下水道事業で何も経営改善していかなければ維持管理費がこれから20%ほど高くなってくる見込みに対して、市の方で頑張って10%下げるので、残り10%を使用者にお願いしたいということです。</p> |
| ○委員 | <p>➡ そういう説明であればわかりやすいと思います。事務局からの資料の説明は、よくわかりませんでした。</p> |
| ○事務局 | <p>➡ 下水道の会計の仕組みが難しいので、なるべく要点をしばって説明するようにしていますが、一般会計からの繰入金や減価償却費など色々な要素が絡んでの状況がありますので、説明が難しくなってしまうことは申し訳ございません。今回の一番のポイントは、維持管理費が物価高騰で高くなってきたことに対し、使用料を据置したままとなると一般会計の負担が重くなっていくので、これを市と使用者で折半することでどうでしょうかということです。</p> |
| ○委員 | <p>➡ その説明を口頭では聞きましたが、資料のどこにも折半するという話を書いていないので、これを何パーセントが良いとかという意見を</p> |

| | |
|----------------|--|
| ○事務局 | <p>していくことが難しい。何か目標を掲げ、その目標を達成するために何パーセント使用料を上げなければいけないのかということが示されていない。口頭で説明されたことを資料に整理して、改めてどうでしょうかと示して欲しい。</p> <p>➡ 使用料改定について市民にわかりやすく説明するための資料を次の審議会で提出します。</p> |
| [説明要旨] ○事務局 | <p>④ 経営の基本方針と目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営の基本方針は、現行経営戦略を踏襲して「強固な経営基盤の確立と安定した下水道サービスの提供」とします。 ・ 投資目標には、着実な更新投資を実施し、耐震化と老朽化対策を図ることと農業集落排水施設の公共下水道切替を計画通りに進めていくことを上げています。 ・ 財源目標には、経費回収率について現状以上の水準を維持することと資金残高を11億円以上の水準を維持することとしています。 ・ その他、これまで審議会でいただいていた意見を踏まえて、使用料がどのように使われているか市民がわかるように情報提供の充実や省エネ設備の導入検討を進められるように更新投資計画の見直しについて、今後の方向性に定めています。 <p>(意見無し)</p> <p>(閉会)</p> |

| | |
|--------------|---|
| 会議の公開・非公開の別 | <p>■公開 傍聴者： 0 人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非 公 開</p> <p>一部公開または非公開とした理由</p> <p>()</p> |
| 会議録の開示・非開示の別 | <p>■開 示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非 開 示（根拠法令等：)</p> |
| 全部記録の有無 | <p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p> |
| 担 当 課 | まち整備部 上下水道課 |